



林業成長産業化地域創出モデル事業 26

鳥取県千代川流域地域

素材生産量の増加と低コスト化、  
人材の確保の取組による地方創生の実現

1 鳥取県千代川流域地域の概要

当地域は、鳥取県東部の1市4町（鳥取市、若桜町、岩美町、智頭町、八頭町）で構成され、森林面積約120,871ha、森林率80%の豊かな山林を持つ地域です。特に「智頭杉」の生産地である智頭町や若桜町は、日本有数の歴史ある林業地として、全国的にも高い評価を受けてきました。

製材工場や木質バイオマス発電所などの原木需要が増加する一方、伐採地が奥地化していることから、素材生産量の増加と低コスト化、そのための人材確保などが重要な課題となっています。

2 林業成長産業化地域構想の概要

こうした課題に対応するため、地域内の3つの森林組合、7社の製材・加工事業者、行政が参画して、①新たな森林管理システムの構築、②主伐と再造林



千代川流域森林フォーラムの様子



ドローンレーザ調査

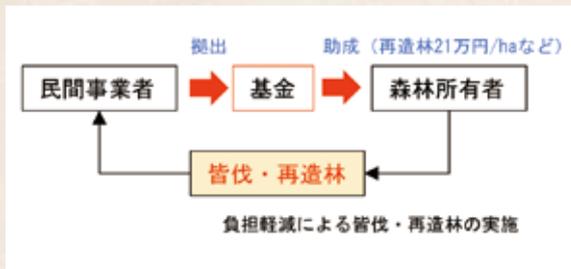


導入された高性能林業機械

の推進、③木材利用の推進、④人材育成の4つの重点プロジェクトから成る地域構想を作成し、平成30年度から林業成長産業化地域創出モデル事業に取り組んでいます。

3 各プロジェクトの概要と主な取組

①新たな森林管理システム構築プロジェクト  
このプロジェクトでは、森林経営管理制度の推進に向けた条件整備や森林資源調査、林業事業者の生



鳥取県森林づくり基金の概念図



木材輸出に係る先進地調査



木材加工施設で導入された加工機械



木造公共施設(富沢コミュニティセンター)

産性向上などを推進することとしています。

これまで、平成31年4月に若桜町が森林づくり条例を制定したほか、鳥取市、八頭町、智頭町が林業施策に関するビジョンを策定しました。また意向調査の実施、フォーラムの開催、モデル地区でのドローンレーザ調査、事業体における高性能林業機械の導入を進めてきました。

## ②主伐再造林推進プロジェクト

このプロジェクトでは、森林資源の平準化を行いながら持続的な森林経営を行うため、県内の素材生産者と需要者が相互に連携しながら主伐と再造林を推進することとしています。

平成31年3月に、林業・木材産業やバイオマス発電の関係者が連携して「鳥取県森林づくり基金」を創設し、負担金を出し合い植栽経費を助成する取組

が開始されました。これにより森林所有者から主伐後の再造林に対する要望が増え、造林面積が毎年増加しています。

## ③木材利用推進プロジェクト

このプロジェクトでは、地域内で生産された原木の川下側への安定的な供給、木材製品のPR活動の強化等の需要拡大に取り組むこととしています。

これまでに、木材加工施設での機械導入、木材輸出に係る先進地調査や韓国等への販路拡大調査、サプライチェーンに関する研究会の開催、木造公共施設の整備による地域材のPR、木育キャラバンの実施などに取り組んできました。

## ④人材育成プロジェクト

このプロジェクトでは、地域の林業の担い手を確

保し、多様な知識・技術や専門的な能力の習得を図り、地域に貢献する人材を育成することとしています。

平成30年には東京で開催された「森のしごと転職・新卒フェア」に出展し、地域の森林・林業や山村での生活のPRなどを行いました。

## 4 おわりに

当地域では引き続き、川上から川下の関係者が連携・協力して、素材生産量の増加を図りながら地域の雇用を創出し、林業の成長産業化と地方創生につなげていきたいと考えています。